

良くわかる

歴史講座・第112回

【祈り・祀る】この国の形

学ぼう会 北攝 代表 河村保美子

建国以来 2679 年経た日本は長い変遷を経て、少しずつ国の形は変化しているといわれます。

特に大東亜戦争を経た後、日本の本質は変わらぬようでありながら、変化を遂げてきている気が致します。世界のどの国を眺めても「宗教」という概念にとらわれた厳しい社会生活が営まれています。それは一見、神の心を生かしている社会に見えますが、実は厳しい戒律にがんじがらめで生きているのではないのでしょうか？その矛盾が宗教観の違いから起きる国家間の争いではないかと思えます。

最近、日本を訪れる外国人の方々が、何故かホッとするとお聞きしますが其のこのの意味が解る気がします。我が国の「神道」には異教徒は存在しません。神社に集う人全てを受け入れます。異教の神を思う人も神殿を通じて自らの神に祈ればよいからです。

とは言いながら、戦後 GHQ 指導（命令）の下、神道指令のもとで国民は教育という名の国家破壊の思想を受け入れざるを得ませんでした。それはジワリジワリと国民の心が壊され“個人主義、核家族、人権偏重”という近代的と称する思想が浸透して日本の国柄を変えて来たのではないのでしょうか。

矢作直樹氏（東京大学名誉教授・医学博士）は、東京大学医学部・東京大学病院に於いて魂と肉体の不思議さを感じられ、たくさんのお著書を著しておられる方です。世界が混沌としている今、日本人はどうすべきか？私たちはどうあるべきか？ヒントをお聞きしましょう。

歴史は民族の宝です。歴史の好きな人も嫌いな人もこの講座で日本が好きになります。

日時 令和 元年 6 月 9 日（日） 2:00～

場所 茨木市福祉文化会館 303 号室

（駅前 4-7-50 TEL072-623-3962）

講師 ^{やはぎ}矢作 ^{なおき}直樹 氏（東京大学名誉教授・医学博士）

著書/人は死なない・おかげさまで生きる/他多数

費用 1000 円（資料代を含む）

*問い合わせ先 吉田 090-8579-0056 (riko7beikokutenn@ezweb.ne.jp)

河村 090-2109-1535 (homiko-k70@docomo.ne.jp)